



完成したジャイン・コーカレー橋

日本の橋梁技術を採用

ジャイン・コーカレー橋の新設工事 安藤ハザマ・ピーエス・ コンストラクションJV

タイとミャンマーとの交通の活性化と近隣経済の持続的な成長を目指し、安藤ハザマ・ピーエス・コンストラクションJVは、橋長580㍎の「ジャイン・コーカレー橋の新設工事」を2023年に完成させた。日本の橋梁技術を多数採用。一面つり構造を採用した美しいデザインが特徴で、現地のランドマークとして景観にも寄与している。

アプローチ橋の施工状況



エクストラード橋の橋面舗装状況



プロジェクト名称は「東西経済回廊整備計画、パッケージ1、ジャイン・コーカレー橋建設事業」。インドシナ半島を横断する東西経済回廊上の既存橋梁を架け替えた。同回廊は、沿線諸国の連携向上と経済発展を目指す運輸インフラ整備事業として、日本政府などの協力により進められている。

この西端に位置するミャンマーでは、11年の民政移管以降の急速な経済発展に伴い、タイとの貿易が拡大する中、回廊上の重量制限を課された既設橋が輸送上のボトルネックとなっていた。このため、特に老朽化の著しい3橋の架け替え事業が計画された。

このうち、今回のプロジェクトではジャイン川に架かる既設橋に代わり、新たにジャイン・コーカレー橋を建設した。起終点に配置されたアプローチ橋部と河川上に架かる主橋部で構成する全7径間の橋梁となる。



P 4フーチングの打設状況

現地のランドマークに

主橋部には、日本で技術発展を遂げたエクストラード橋を採用し、主桁構造には、橋体自重の軽減とメンテナンスの低減を目的とした耐候性鋼板を用いた波形鋼板ウェブと広い幅員を支持するストラット構造を採用した。

施工期間には、洪水や新型コロナウイルス感染症などによる工事中断もあったが、発注者であるミャンマー建設省の強い要求も踏まえ、高い品質の追求と早期開通を目指して工事の継続を重点目標とした。工事関係者が一丸となって取り組み、無事完成を迎えた。

概要

- ▷実施者＝安藤ハザマ・ピーエス・コンストラクションJV
- ▷実施国＝ミャンマー
- ▷実施都市・地区＝カイン州コーカレー郡区
- ▷プロジェクト関係者＝ミャンマー建設省橋梁局（発注者）、セントラルコンサルタント・エイト日本技術開発・日本構造橋梁研究所・片平エンジニアリング・インターナショナル・大日本ダイヤコンサルタント・TOP Engineering International（設計者）
- ▷主橋＝橋長380㍎、上部構造形式はPC3径間連続波形鋼板ウェブエクストラード橋（内・外ストラット併用構造）
- ▷実施期間＝2019年5月～23年6月

